
朝が来た後で

clown

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

朝が来た後で

【Nコード】

N7689Y

【作者名】

clown

【あらすじ】

朝が来る前に番外編

今回は、少し妥協しました。すみません。
気にする人はいないと思うけど、、、

モニタールーム

そこには、一人の男がいた。

モニターには、ある男が、無残な死体の前で手首を切る映像が映っていた。

男は、その映像を見ながら、クククと笑っていた。

男は、すこし、快感を感じるところが人と違っていた。

血が出るのを見たとき、人が、不可能なこととぶつかったとき、人が死ぬとき、そんなときに男は快感を感じた。

彼のことを、悪だとか、ごみだとか思う人もいるかもしれない。

しかし、彼にとっては彼は、正義であり、主人公であり、大切な人であった。

当然だ、彼は別に人間としての理性、プライドがないわけではない。

彼は、引きこもりだ。

外に出ると、快感を求め、人を殺めてしまいかねない。

彼は、そんな自分が大嫌いだった。

人を、殺してしまう自分が、、、

しかし、快感を求める衝動は抑えきれない。

夜に、彼は、外に出かける。

外にはいろいろな人がいる。

その中の、目に付いた一人、その一人が今日の犠牲者だ。

その人には悪いが、これも僕が生きたためだ。彼はそう思って、スタンガンを、その人に押し付ける。

薬を飲ませ、記憶を、忘れさせ、彼が作った、監禁部屋のどこかに放り込む。

その部屋に、入ってきた人には、クリア不可能のゲームをさせるのが大好きだった。

そのために、シナリオを書いておいて、そのシナリオどおりに、人が動くのかを見る。

シナリオどおりに動くと、彼は快感を感じる。

そして、絶望を目前とした人は死ぬのだ。

彼はひたすら、身もだえ、興奮し、快感を得る。

そして、朝になって眠るのだった。

(後書き)

その人から見れば正義でも、他人から見れば悪
そういつ風にできているとおもった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7689y/>

朝が来た後で

2011年11月22日23時53分発行